



歌浦っ子・ベゴニア通信



文責 フラッセル日本人学校補習校
校長 佐藤 博

世界に誇るマンガ大国、ニッポン！

「マンガ、好きな人手を上げて？」・・・えっ？こんなにいるの？そうだね、おもしろいし、本は読まなくてもマンガなら読むって人もたくさんいるでしょう？先生も子どもの頃はマンガが大好きで、少年サンデーや少年マガジンなんかを友達とお金を出し合い、回し読みしたことを覚えています。最近では勉強になるマンガなんかも多く、マンガから知識を得たなんて人もいるのではないのでしょうか。

ここベルギーでもマンガは大人気で、しかも「MANGA」（マンガ）と表現します。日本語がそのまま使われているのです。ちなみに日本語がそのまま使われているのは、他にも「SUSHI」（寿司）や「TENPURA」（天ぷら）なども使われています。

さて、つい先日テレビを見ていたら、「のびた、△O\$#<*・・・」（のび太の後は全く聞き取れず）とテレビから流れてきました。そうです、ドラえもんがフランス語バージョンで流れていたのです。内容は日本と変わらず、違っているのは言葉がフランス語というところだけ。さすがマンガ大国、日本だと思っていたら、これはフランスだけではなく、夏休みに旅行したスペインでも同じで、そこではドラゴンボールやキャプテン翼がスペイン語バージョンで流れていました。ちなみにキャプテン翼を見た人は知っているかもしれませんが、翼君はプロに入った後、スペインのバルセロナFCに入団します。バルセロナFCといえば、ヨーロッパを代表する強豪チーム、マラドーナやメッシ、イニエスタなど名プレイヤーを生んだ世界一のクラブでもあります。そこに我が翼君は、たとえマンガの世界でもそのチームに所属し、活躍するのだから本当にたいしたものですね。ちなみにこのキャプテン翼、番組の中に出てくるトーナメント表やチーム名などは右の写真のように、日本語のまま表記されていました。これを見ているスペインの子どもたち、きっと読めないでしょうけどね。雰囲気伝わればいいのか・・・もう一つついでに、バルセロナFCの競技場も見学に行きましたが、そこでなんと「南葛FC」のTシャツを着たスペインの若者と出会いました。私が驚いていると、向こうも日本人と気付いてくれたのか、にこっと笑って手を振ってくれました。マンガがつなく人との交流、本当に素晴らしいなと思います。世界に誇る日本のマンガ文化、とても誇らしく思います。



ベルギーの「マンガ文化」といえば・・・

では、ベルギーのマンガ文化といえば・・・昔から親しまれているのが「タンタン」。実は1929年に誕生したマンガなので、今年でなんと93年目！右の絵を見たら知っている人も多いのでは？下の右の写真は地下鉄の駅、壁にずっとタンタンの絵が描かれています。

その他にも建物の壁に描かれているマンガもたくさんあって見るだけでも楽しめます。またマンガだけでなく、町中の壁にはたくさんの落書きがあって、ついこの間は路地裏の小さな道で実際に落書きをしているところを見かけました。落書きもいたずらではなく、一つのアートとして認められているところがあります。壁だけでなく高速道路の壁面や標識にも落書きがあるので、命がけで描いているのかもしれませんが。またタンタン以外にも右の「スマーフ」もベルギー生まれ、ブリュッセル市内にはこれらを展示した「マンガ博物館」もあるくらいです。まだ行ったことがないので今度行って報告しますね。

